

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	1062	所属	上下水道部水道工務課給水係			起案者	谷 佳幸
事業名	専用水道等事業					決裁者	香村 正志
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-71-2250
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input checked="" type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input checked="" type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-1-1-2		予算科目	会計	一般会計		
	第8次				款	20	衛生費	
					項	15	水道事業費	
					目	5	水道事業費	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		195	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画								
根拠法令	有	水道法						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成 25 年度	終期	平成 年度	■ なし			
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる				
事務事業の内容 (手段)								
事務の内容	専用水道・簡易専用水道に係る申請・届出書類の確認、立入検査及び検査結果報告の徴収など、専用水道・貯水槽水道設置者に対する指導を行います。							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	107	73	66	199
		需用費	73	69	62	186
		役務費				
		委託料				
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金				
		その他	34	4	4	13
	②	人件費	3,150	5,985	11,970	5,040
		正規職員 (人)	0.5	0.95	1.9	0.8
		臨時職員人件費 (千円)				
③	年間経費(①+②) (千円)	3,257	6,058	12,036	5,239	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	0	0	0	0	
	国庫・県支出金 (千円)					
	受益者負担金 (千円)					
	その他 (千円)					
⑤	一般財源(③-④) (千円)	3,257	6,058	12,036	5,239	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	専用水道届出 受理件数 2件 専用水道立入検査 実施件数 0件 簡易専用水道届出 受理件数 5件	専用水道届出 受理件数 0件 専用水道立入検査 実施件数 0件 簡易専用水道届出 受理件数 2件	専用水道届出 受理件数 1件 専用水道立入検査 実施件数 3件 簡易専用水道届出 受理件数 4件	専用水道届出 受理予定件数 件 専用水道立入検査 実施予定件数 3件 簡易専用水道届出 受理予定件数 件			

成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
				目標				
				実績				
				目標				
			実績					

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input type="checkbox"/> いいえ	➡	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	➡	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	➡	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分					
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある					
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い					
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 水道法に定められている事務のため、委託等に馴染まないと考えます。					
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 水道法に定められている事務であるため、事業費の削減は困難と考えます。					
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 水道法に基づき実施しているため、現状維持となります。					
	④事務事業のスリム化	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割					
既存の事務事業							
	再編後の事務事業						
	(内容)						
		削減額見込(概算)	千円				
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 水道法に定められた事務であるため、他の自治体等と同等と考えます。					
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 水道法に定められた事務であり、受益者負担なしで問題ないと考えます。					
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 見直し</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 拡充</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 縮小・統合</td> </tr> </table> 目標年度 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)			<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小・統合
<input type="checkbox"/> 見直し							
<input type="checkbox"/> 拡充							
<input type="checkbox"/> 縮小・統合							

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 水道法で定められている簡易専用水道の管理の検査が行われているのか不明なため、現地調査を進めています。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 簡易専用水道の現地調査結果を取りまとめ調書を作成し、不適合が判明した設置者への指導を進めます。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	西三河合同の指定工事事業者研修会を行い、他の自治体と事業内容を比較し、事務の効率化を図ります。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	621	所属	水道工務課浄水管理事務所管理係			起案者	鈴木豊明
事業名	浄・配水場施設を利用した発電事業				決裁者	香村正志	
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-98-7340
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							<input type="checkbox"/>
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-1-3-1		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次	3-1-(1)			款	
					項	
					目	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
総合計画以外の計画	環境基本計画					
根拠法令	無					
議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成 17 年度			終期	平成 46 年度 <input type="checkbox"/> なし
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる		
	水道事業者が、浄水場、配水場施設を有効活用して発電、売電を行い、			水道事業の経営環境の改善と自然環境への負荷軽減を図ります。		
事務事業の内容 (手段)	中部配水場において、県営水道の受水の水頭圧を利用した水力発電を、北部浄水場において、配水池上部の空間を利用した太陽光発電に取り組み、電気の大量消費施設から自然環境への負担軽減を図る施設へ、また、売電により、水道事業の経営環境を改善します。					
事務の内容	水力発電施設の整備、太陽光発電施設の整備、水力及び太陽光発電量の売電、水力及び太陽光発電施設施設の維持管理(点検、補修)					

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	0	140,162	410	540
		需用費				
		役務費				
		委託料			410	540
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金				
			その他		140,162	
	②	人件費	0	1,890	630	630
		正規職員 (人)	0	0.3	0.1	0.1
		臨時職員人件費 (千円)				
③	年間経費(①+②) (千円)	0	142,052	1,040	1,170	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	0	142,052	1,040	1,170	
	国庫・県支出金 (千円)					
	受益者負担金 (千円)		142,052	1,040	1,170	
	その他 (千円)					
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	<ul style="list-style-type: none"> 水力発電設備(中部配水場)による発電及び売電 発電施設の点検、補修 	<ul style="list-style-type: none"> 北部浄水場配水池上部の有効活用として、太陽光発電設備の整備 水力発電設備(中部配水場)による発電及び売電 発電施設の点検、補修 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備(北部浄水場)による発電及び売電 水力発電設備(中部配水場)による発電及び売電 発電施設の点検、補修 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備(北部浄水場)による発電及び売電 水力発電設備(中部配水場)による発電及び売電 発電施設の点検、補修 			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	太陽光発電量(売電電力量)	千kwh	目標	-	-	360	450
			実績	-	-	450	
	水力発電量(自己消費電力量+売電電力量)	千kwh	目標	246	280	296	304
実績			280	296	304		

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度		必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 水力発電量、太陽光発電量は、指標から判断できるように、目標値を上回る実績をあげていることから、事業の実施は順調であると考えます。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 太陽光発電量については、平成27年度は、目標値を上回る発電量であったが、同年が初年度であり、今後の推移を見守る必要があります。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 環境基本計画に掲げる「低炭素社会の実現」を目指す意図から、重要な取り組みです。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 保守点検については、委託としています。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 発電量を増やし売電することが、経費の削減となります。しかし、発電の基本となる水力は県営水道、太陽光は、自然が対象であることから、大幅な増量は望めないと考えます。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 以前に維持管理の点検業務を業者委託に切り替えています。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;">浄・配水場施設を活用した発電事業</td> <td style="width:20%;">施設保守管理事業</td> <td style="width:20%;">施設運転管理事務</td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td>施設運転保守管理事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 本事務事業(浄・配水場施設を活用した発電事業)は、水力並びに太陽光発電を目的とした施設整備及び施設管理を行うものであります。その中で、施設の整備は、平成26年度に終了し、27年度からは維持管理が中心になっています。そこで、浄水管理事務所内の施設の維持管理を行っている「施設保守管理事業」で合わせて事業を行っていくことで、事務事業のスリム化を図りたいと考えます。	既存の事務事業	浄・配水場施設を活用した発電事業	施設保守管理事業	施設運転管理事務	再編後の事務事業	施設運転保守管理事業	
既存の事務事業	浄・配水場施設を活用した発電事業	施設保守管理事業	施設運転管理事務						
再編後の事務事業	施設運転保守管理事業								
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 近隣市では実施している水道事業者はありませんが、県営水道では、一部の浄水場において、浄水場内で太陽光発電施設を整備し発電等しています。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 水道事業(公営企業)のため、水道利用者からの使用料で業務を行っています。							
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無(現状維持)							

見直し
 拡充
 縮小・統合
 目標 28 年度

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 設備に異常、故障などが発生しないように維持管理をしっかり行っていくことが求められます。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 水力発電施設の管理については、委託を実施していないため直営での日常管理を注意深く行ってまいります。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーを活用したエネルギーの効率的な利用推進から温室効果ガスの削減を図る対策として、太陽光発電及び水力発電事業は、必要な事業でありますので、今後も発電量を維持することを考慮しつつ、管理に努めてまいります。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	622	所属	水道工務課浄水管理事務所管理係			起案者	鈴木豊明
事業名	原水及び県水受水事業				決裁者	香村正志	
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先 98-7340 内線
	事務事業の分類 <input type="checkbox"/> 企画計画立案 <input type="checkbox"/> 調査・研究 <input type="checkbox"/> 規制、指導 <input type="checkbox"/> 育成・支援・相談 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 広報・普及啓発 <input type="checkbox"/> 徴収・収納 <input type="checkbox"/> 補助・助成・手当・サービス給付 <input checked="" type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 窓口、受付 <input type="checkbox"/> 用地取得・処分 <input type="checkbox"/> 検査・審査・監査 <input type="checkbox"/> 施設設計・建設 <input type="checkbox"/> イベント・講座 <input type="checkbox"/> 現業業務 <input type="checkbox"/> その他						

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-1-1-1		予算科目	会計	水道事業会計	
	第8次	4-2-(1)			款		
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		509
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当			
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	水道法					
議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営	委託先					
実施期間	開始	昭和 31 年度			終期	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> なし
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる			
	市民(給水対象者)が			安定した水道水の供給をうける。			
事務事業の内容 (手段)	水道水の安定供給を目的として、自己水源(井戸水)からの取水量と県水受水量を定めた取水計画を策定し、計画に従って水道水の原水管理を行います。また、自己水源は、経年劣化するため、その状況を把握し、計画的に浚渫などを実施し、自己水の確保に努めます。						
事務の内容	県営水道の受水計画及び自己水の取水計画の策定、取水施設の維持管理(更新)工事、日常点検						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	1,163,465	1,159,038	1,117,400	1,115,465
		需用費				
		役務費				
		委託料				
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金				
			1,163,465	1,159,038	1,117,400	1,115,465
	②	人件費	6,426	7,119	5,040	5,670
		正規職員 (人)	1.02	1.13	0.8	0.9
		臨時職員人件費 (千円)				
③	年間経費(①+②) (千円)	1,169,891	1,166,157	1,122,440	1,121,135	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	1,169,891	1,166,157	1,122,440	1,121,135	
	国庫・県支出金 (千円)					
	受益者負担金 (千円)	1,169,891	1,166,157	1,122,440	1,121,135	
	その他 (千円)					
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・翌年度の年間取水、受水計画(自己水、県営水道)の作成 ・取水及び受水施設の整備、更新計画の作成 ・取水及び受水施設の更新工事 ・取水及び受水施設の日常点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・翌年度の年間取水、受水計画(自己水、県営水道)の作成 ・取水及び受水施設の整備、更新計画の作成 ・取水及び受水施設の更新工事 ・取水及び受水施設の日常点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・翌年度の年間取水、受水計画(自己水、県営水道)の作成 ・取水及び受水施設の整備、更新計画の作成 ・取水及び受水施設の更新工事 ・取水及び受水施設の日常点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・翌年度の年間取水、受水計画(自己水、県営水道)の作成 ・取水及び受水施設の整備、更新計画の作成 ・取水及び受水施設の更新工事 ・取水及び受水施設の日常点検 			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	年間取水受水量	千m3	目標	-	-	-	-
			実績	20,630	20,390	20,215	
	年間取水受水量に占める自己水率(30%以上)	%	目標	30	30	30	30
実績			30	29.9	30.6		

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	(<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度)		※2「改善の必要性」の評価へ
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 県営水道の受水について、自己水源を最大限取水し、その不足分を県営水道で補うものとし、県営水道受水にかかる費用の縮減に努める観点から、目標値である自己推量30%をほぼ確保できています。									
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある ・愛知県給水規定に基づき県営水道を受水(購入)していることから、受水量の大幅な減量は困難であります。									
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 良質な水道水の安定供給を行い、快適な市民生活を提供しています。									
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 水道事業者として、県営水道からの受水計画及び自己水の取水計画を立てる必要があることから、外部委託等に馴染まないと考えます。									
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 現状では、削減は困難であると考えますが、取水施設の配置変更の計画があり、今後、南部浄水場の取水施設を北部浄水場に集約していくことになっていきますが、集約された場合には、取水施設の設備整備費及び維持管理費の縮減が図られると考えます。									
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 現状では、困難であると考えますが、取水施設の配置変更の計画があり、今後、南部浄水場の取水施設を北部浄水場に集約していくことになっていきますが、集約された場合には、事務の効率化等が図られると考えます。									
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 □ ない ■ 統合 □ 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">既存の事務事業</td> <td style="width:30%;">原水及び県水受水事業</td> <td style="width:30%;">浄水及び配水事業</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td>受水、取水、浄水及び配水事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 水道供給は、①受水、取水(県営水道、自己水)、②浄化、③配水の順に行います。また、過去の配水量等から翌年度の受水、取水及び配水量の計画を立て、さらに、施設等の更新計画も立てています。これらの業務を、一連で行っていることから、現在2件になっている「原水及び県水受水事業」と「浄水及び配水事業」を合わせることで事務事業のスリム化を図りたいと考えます。			既存の事務事業	原水及び県水受水事業	浄水及び配水事業		再編後の事務事業	受水、取水、浄水及び配水事業	
既存の事務事業	原水及び県水受水事業	浄水及び配水事業									
再編後の事務事業	受水、取水、浄水及び配水事業										
		削減額見込(概算)	千円								
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 水道水を安定供給するためには、県営水道からの受水すること、また、自己水を取水することで可能になることから、継続実施していくことが求められる事業であります。									
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある ■ 適正 □ 過大 □ 過小 □ ない □ 問題ない □ 検討必要 水道事業(公営企業)のため、水道利用者からの使用料で業務を行っています。									
「改善の必要性」の評価		■ 有 (□ 見直し □ 拡充 ■ 縮小・統合 目標 28 年度) □ 無(現状維持)									

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 水道水の需要量に見合う、県営水道の受水量及び自己水源からの取水量の確保をする必要がある。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 毎年、前年の水道水の需要量等から県営水道からの受水計画及び自己水源からの取水計画を見直しいています。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	自己水源の取水量の安定確保と県営水道の受水量の適正管理により、需要量に見合う水源の確保を図ってまいります。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	・浄水及び配水施設の整備、更新計画の作成 ・浄水及び配水施設の更新工事 ・浄水及び配水施設の日常点検						

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	自己水浄化不能事故の発生件数(自然災害を除く)		件	目標	0	0	0
実績				0	0	0	
県営水道受水不能事故の発生件数(自然災害を除く)		件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か ■ いいえ	<input type="checkbox"/> はい	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い ■ E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか □ いいえ	<input type="checkbox"/> はい	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度) <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)			
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 自己水の浄化不能や県営水道の受水不能となる設備の事故を日常点検で未然に防止し、安定した水道水の供給を行っています。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 施設の日常点検や更新において、事故を未然に防いでいることから成果は、十分に向上されていると考えます。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 良質な水道水の安定供給を行い、快適な市民生活を提供しています。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 水道事業者として、施設の更新計画等を行う必要があることから、外部委託等に馴染まないと考えます。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 現状では、事業費の削減は困難であると考えますが、浄水施設の配置計画があり、今後、南部浄水場の浄水施設を北部浄水場に集約していくことになっていきますが、集約された場合には、浄水施設の設備整備費及び維持管理費の縮減が図られると考えます。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 現状では、事務の効率化等は困難であると考えますが、浄水施設の配置計画があり、今後、南部浄水場の浄水施設を北部浄水場に集約していくことになっていきますが、集約された場合には、事務の効率化を図られると考えます。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">既存の事務事業</td> <td style="width:30%;">浄水及び配水事業</td> <td style="width:30%;">原水及び県水受水事業</td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td>受水、取水、浄水及び配水事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 水道供給は、①受水、取水(県営水道、自己水)、②浄化、③配水の順に行います。また、過去の配水量等から翌年度の受水、取水及び配水量の計画を立て、さらに、施設等の更新計画も立てています。これらの業務を、一連で行っていることから、現在2件になっている「原水及び県水受水事業」と「浄水及び配水事業」を合わせることで事務事業のスリム化を図りたいと考えます。	既存の事務事業	浄水及び配水事業	原水及び県水受水事業		再編後の事務事業	受水、取水、浄水及び配水事業	
既存の事務事業	浄水及び配水事業	原水及び県水受水事業							
再編後の事務事業	受水、取水、浄水及び配水事業								
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 水道水を安定供給するためには、自己水を浄化し、市内へ配水することで可能になることから、継続実施していくことが求められる事業であります。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 水道事業(公営企業)のため、水道利用者からの使用料で業務を行っています。							
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 28 年度 </td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 無(現状維持)	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 28 年度						
<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 28 年度									

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 水道を使用する製品の節水型の普及や市民の節水の意識向上、また、これらに加えて、大口利用者の専用水道化から、年間配水量は、減少傾向にあり、水道使用料金収入の減少が考えられます。そのため、浄化、配水施設整備において、計画的な設備計画が必要です。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 北部浄水場内の浄化施設の耐震化による整備計画について、浄水施設の配置計画があり、今後、南部浄水場の浄水施設を北部浄水場に集約していくことになっていますので、この集約化計画に合致させるよう耐震化計画をしております。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い	目標 平成 28 年度	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持	
評価の総括	計画的な整備をすることで、浄化配水能力を確保し水道水の安定供給を図ってまいります。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	624	所属	水道工務課浄水管理事務所施設係			起案者	中村 政則
事業名	施設保守管理事業					決裁者	香村 正志
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input checked="" type="checkbox"/>	経常的	<input type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							98-7340
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							<input type="checkbox"/>
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-1-1-1		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次		4-2-(1)			款	
						項	
						目	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		509
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当			
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	水道法					
議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業				
実施期間	開始	昭和 61 年度			終期	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> なし
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				~になる		
	市民(給水対象者)が				いつでも、安全で安心な水道水を利用できる		
事務事業の内容 (手段)	市民が良質な水の供給を受けられるように浄・配水場施設の機器保守点検、施設清掃等管理を行います。						
事務の内容	点検・整備・委託の設計・監督、点検等実施の際の施設運転の調整						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
			実績	実績	実績	予算	
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	16,999	19,199	19,673	23,528	
		需用費					
		役務費					
		委託料					
		使用料及び賃借料					
		負担金、補助及び交付金					
			その他	16,999	19,199	19,673	23,528
	②	人件費	正規職員 (人)	5,922	4,347	4,347	4,347
			臨時職員人件費 (千円)	0.94	0.69	0.69	0.69
		③ 年間経費(①+②) (千円)	22,921	23,546	24,020	27,875	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	22,921	23,546	24,020	27,875		
		国庫・県支出金 (千円)					
		受益者負担金 (千円)	22,921	23,546	24,020	27,875	
		その他 (千円)					
⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画				
	設備機器保守管理委託 (10件数)	設備機器保守管理委託 (10件数)	設備機器保守管理委託 (10件数)	設備機器保守管理委託 (10件数)				
	施設管理委託 (10件数)	施設管理委託 (10件数)	施設管理委託 (10件数)	施設管理委託 (10件数)				
	汚泥処理(廃棄物)委託 (110m ³)	汚泥処理(廃棄物)委託 (146m ³)	汚泥処理(廃棄物)委託 (100m ³)	汚泥処理(廃棄物)委託 (140m ³)				
成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	施設設備機能不全数	個	目標		0	0	0	0
			実績		1	0	0	
	業務委託件数	件	目標		20	20	20	20
			実績		20	20	20	

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input type="checkbox"/> いいえ	➡	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い ■ E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	➡	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	➡	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	➡	
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 事業の遂行により、施設設備の健全化が図られ、機能維持と機器寿命を守ることができています。									
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 定期的を実施する点検等の内容を毎年見直しながら実施しています。現状では業務を通し、目的とする機能維持を達成できているため成果の余地は見込めません。									
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 良質な水道水の安定供給を行い、快適な市民生活を提供します。									
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 公共施設設備点検であるため、委託に馴染まないと考えています。									
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 点検、整備や清掃などは、実施に当たり毎回必要性を確認し、内容を精査していることから大きな削減は見込めません。									
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 同上のとおり、必要最小限の実施に努めているため大きな改善は見込めません。									
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">既存の事務事業</td> <td style="width:25%;">施設保守管理事業</td> <td style="width:25%;">施設運転管理事務</td> <td style="width:25%;">浄・配水場施設を利用した発電事業</td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td>施設運転保守管理事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 浄水場における業務のうち公営企業の予算として収益的支出に分類されるものに「運転監視」「保守点検」「修繕」「清掃」「薬品」「電力」があります。これら業務は浄水場の施設維持活動として括られ、「施設運転保守管理事業」として、ひとつに統合してスリム化を図りたいと考えます。			既存の事務事業	施設保守管理事業	施設運転管理事務	浄・配水場施設を利用した発電事業	再編後の事務事業	施設運転保守管理事業	
既存の事務事業	施設保守管理事業	施設運転管理事務	浄・配水場施設を利用した発電事業								
再編後の事務事業	施設運転保守管理事業										
		削減額見込(概算)	千円								
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 運転システムの老朽度から現運転管理が適正と判断します。									
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 水道事業(公営企業)のため、水道利用者からの使用料で業務を行っています。									
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 </td> </tr> </table> 目標 28 年度 <input type="checkbox"/> 無(現状維持)			<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合						
<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合											

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 職員の技術力低下により、発注や施工の際の点検、清掃の実施内容や結果の精査や判断力の低下が懸念されます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 担当職員のみならず、機会を捉えて、ほかの係員も委託内容や結果を周知して行きます。日々の巡視点検結果を活かし、業務内容の精査につなげて行きます。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い	目標 平成 28 年度	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持	
評価の総括	浄配水場の設備機器等の保守管理は、施設の機能維持とともに施設の延命化を図る役割もある大切な事業ですので、今後も益々重要となります。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	浄配水場施設運転管理、受配水量の調整・記録(一式) 水道用薬品の管理・記録・注文(注文49回数) 電力・燃料の管理・記録(一式)	浄配水場施設運転管理、受配水量の調整・記録(一式) 水道用薬品の管理・記録・注文(注文51回数) 電力・燃料の管理・記録(一式)	浄配水場施設運転管理、受配水量の調整・記録(一式) 水道用薬品の管理・記録・注文(注文50回数) 電力・燃料の管理・記録(一式)	浄配水場施設運転管理、受配水量の調整・記録(一式) 水道用薬品の管理・記録・注文(注文53回数) 電力・燃料の管理・記録(一式)			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	クレーム発生件数	件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	
			目標				
実績							

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input type="checkbox"/> いいえ	➡	④「事業の必要性」の評価 ■ はい ■ E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	➡	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	➡	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度	➡	
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

- ⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ
Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 安全で安心な水道水を安定供給しています。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 適切に運転管理を行っており、これ以上の向上は見込めません。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 良質な水道水の安定供給を行い、快適な市民生活を提供します。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 現在、一部民間委託を行い、既に十分に活用しています。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 既に適正な人員配置等の効率化を進めてきたため不可能と判断します。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 長い事業歴史の中、中部浄水場(現在中部配水場)を配水場にするなどして機能の統廃合を行い、中央監視制御設備の導入など設備改善にて無人化や自動化を進め、様々な効率化・簡素化に努めてきましたので不可能と判断します。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">既存の事務事業</td> <td style="width:25%;">施設保守管理事業</td> <td style="width:25%;">施設運転管理事務</td> <td style="width:25%;">浄・配水場施設を利用した発電事業</td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td>施設運転保守管理事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) 浄水場における業務のうち公営企業の予算として収益的支出に分類されるものに「運転監視」「保守点検」「修繕」「清掃」「薬品」「電力」があります。これら業務は浄水場の施設維持活動として括られ、「施設運転保守管理事業」として、ひとつに統合してスリム化を図りたいと考えます。	既存の事務事業	施設保守管理事業	施設運転管理事務	浄・配水場施設を利用した発電事業	再編後の事務事業	施設運転保守管理事業	
既存の事務事業	施設保守管理事業	施設運転管理事務	浄・配水場施設を利用した発電事業						
再編後の事務事業	施設運転保守管理事業								
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 近隣自治体と同様に一部民間委託という手法を用いていて規模は適正と考えます。また、供給停止することなく基準値内の水道水品質を実施できていることからサービスについても適正です。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 水道事業(公営企業)のため、水道利用者からの使用料で業務を行っています。							
「改善の必要性」の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 28 年度 </td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 無(現状維持)	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 28 年度						
<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 28 年度									

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 高経験者の定年退職に伴い、技術力低下により、品質の低下が懸念されます。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 職員間の意志疎通を図る機会や訓練・学習する場を設け、係員の技術向上に努めます。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	浄配水場の運転管理である本事業は、水道事業にとって必要不可欠な事業であります。今まで通り適正に事業を実施して行きます。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	626	所属	水道工務課浄水管理事務所管理係			起案者	鈴木豊明	
事業名	水質検査等事務					決裁者	香村正志	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input type="checkbox"/>	政策的	連絡先	
							内線	98-7340
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input checked="" type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-1-1-2		予算科目	会計	水道事業会計	
	第8次	4-2-(9)			款		
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		509
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当			
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	水道法施行規則第3条、第10条、第15条第1項第1号～4号					
議会答弁	無						
陳情・市民要望	有	市民から水道水の安全性についての質問がある					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業、行政関連団体				
実施期間	開始	昭和 34 年度			終期	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> なし
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			～になる			
事務事業の内容 (手段)							
事務の内容	水道法に義務付けられている水質検査計画を作成し、水源及び末端給水栓等の水質検査を行います。検査項目の内、自己検査できない項目については、その検査項目を外部分析機関に委託しますが、それ以外は、直営にて検査を実施します。また、市民の方から寄せられる水道水質に関する相談には、必要に応じ採水して水質検査を実施し、その結果を相談者に提供します。						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	10,479	13,043	11,894	13,017
		需用費				
		役務費				
		委託料	10,479	11,294	11,124	13,017
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金				
			1,749	770		
	②	人件費	10,080	8,820	13,860	11,340
		正規職員 (人)	1.6	1.4	2.2	1.8
		臨時職員人件費 (千円)				
③	年間経費(①+②) (千円)	20,559	21,863	25,754	24,357	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	20,559	21,863	25,754	24,357	
	国庫・県支出金 (千円)					
	受益者負担金 (千円)	20,559	21,863	25,754	24,357	
	その他 (千円)					
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画				
	・前年度の水質検査の集計及び翌年度の水質検査計画の作成(HP掲載) ・水質検査(検査項目により、毎日、毎月、毎4半期等) ・水質検査機器類の日常点検 ・水質検査技術力向上のため、スキルアップ研修 ・水道水のおいしさをPRするため、水道水と市販されているミネラルウォーターとの飲み比べイベント	・前年度の水質検査の集計及び翌年度の水質検査計画の作成(HP掲載) ・水質検査(検査項目により、毎日、毎月、毎4半期等) ・水質検査機器類の日常点検 ・水質検査技術力向上のため、スキルアップ研修 ・水道水のおいしさをPRするため、水道水と市販されているミネラルウォーターとの飲み比べイベント	・前年度の水質検査の集計及び翌年度の水質検査計画の作成(HP掲載) ・水質検査(検査項目により、毎日、毎月、毎4半期等) ・水質検査機器類の日常点検 ・水質検査技術力向上のため、スキルアップ研修 ・水道水のおいしさをPRするため、水道水と市販されているミネラルウォーターとの飲み比べイベント	・前年度の水質検査の集計及び翌年度の水質検査計画の作成(HP掲載) ・水質検査(検査項目により、毎日、毎月、毎4半期等) ・水質検査機器類の日常点検 ・水質検査技術力向上のため、スキルアップ研修 ・水道水のおいしさをPRするため、水道水と市販されているミネラルウォーターとの飲み比べイベント	・前年度の水質検査の集計及び翌年度の水質検査計画の作成(HP掲載) ・水質検査(検査項目により、毎日、毎月、毎4半期等) ・水質検査機器類の日常点検 ・水質検査技術力向上のため、スキルアップ研修 ・水道水のおいしさをPRするため、水道水と市販されているミネラルウォーターとの飲み比べイベント			
成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
				目標				
				実績				
				目標				
			実績					

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input type="checkbox"/> いいえ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	<input type="checkbox"/> 該当しない	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)			
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 高度な専門性を要する検査については、外部委託を行っています。しかし、市民からの水道水の水質に関する問い合わせや検査の要望もあり、直ちに対応できるよう直営での検査も可能な体制を整えることが、市民サービスのひとつであると考えます。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 浄水場でできること、委託業者でなければできないことがあり、現状ではそのバランスが最適であると考えています。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 毎日、浄、配水場の水質検査を行うにあたり、施設係において、施設の点検するために、毎日浄、配水場に出向いていることから、検査に必要な採水を施設係で行い、効率的な検査事務を行えるようH28年度から実施しています。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容)	既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業									
再編後の事務事業									
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 水道法に基づき水質検査を実施する必要があります。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 水道事業(公営企業)のため、水道利用者からの使用料で業務を行っています。							
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 年度 </td> </tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 年度						
<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 年度									

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 水道法に定める水質検査を、正確に実施していく必要があります。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 水質検査業務を行うにあたり、職員が正確に検査できるよう技術力を高める研修に積極的に参加していきます。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	常時に衛生的で安全な水道水を供給し、利用者に安心して水道水を飲んでいただくため、水道法に定められた水質検査を水質検査計画に基づき実施してまいります。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	627	所属	上下水道部水道工務課給水係			起案者	谷 佳幸	
事業名	給水装置設置等申請審査事業					決裁者	香村 正志	
事業区分	■	義務的	□	経常的	□	政策的	連絡先	0566-71-2250
							内線	2723
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input checked="" type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input checked="" type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input checked="" type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-1-1-2		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次				款	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ	509
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
総合計画以外の計画						
根拠法令	有	安城市水道事業給水条例 第6条				
議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成 元 年度	終期	平成 年度	■ なし	
求める成果(目的)	誰(受益者)が			~になる		
事務事業の内容(手段)						
事務の内容	新たに水道を開栓し、使用しようとする者等から提出された給水装置新設等申込書を速やかに審査、承認するとともに必要に応じ配水管布設工事を発注し、早期に水道水を給水します。					

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
			実績	実績	実績	予算	
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	64,700	54,600	57,800	90,000	
		需用費					
		役務費					
		委託料					
		使用料及び賃借料					
		負担金、補助及び交付金					
			64,700	54,600	57,800	90,000	
	② 歳入	人件費	正規職員 (人)	4.5	5.05	4.1	3.2
			臨時職員人件費 (千円)	1,023	1,033	1,048	1,311
		③ 年間経費(①+②) (千円)	94,073	87,448	84,678	111,471	
④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)		94,073	87,448	84,678	111,471		
	④ 歳入	国庫・県支出金 (千円)					
		受益者負担金 (千円)	94,073	87,448	84,678	111,471	
		その他 (千円)					
	⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	給水装置新設等申込書承認件数 1903件	給水装置新設等申込書承認件数 1740件	給水装置新設等申込書承認件数 1684件	給水装置新設等申込書 予定承認件数 1700件			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	<input type="checkbox"/> 義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	<input type="checkbox"/> 該当しない	
	③第8次総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

- ⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ
 Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分	
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い	
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 給水条例に定められた事務のため、水道事業者が直接実施すべきと考えます。	
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 給水申込の個々の案件によりかかる時間に多少のばらつきがありますが、手続きの省略をしない限りこれ以上の削減は困難と考えます。	
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 大幅な効率化・簡素化は不可能と考えますが、指定工事事業者研修会を行い、申請書類の不備を無くす様に指導し、審査の手間・時間の削減に努めます。	
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割	
		削減額見込(概算)	千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 水道法に基づき安城市の条例を定め事務を行っているため、適正であると考えます。	
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 健全な企業経営を維持しつつ水道利用者からのご負担をいただき事業を実施していますので、適正であると考えています。	
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)	

Action【今後の方向性】

活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入

平成28年度事務事業総点検 評価シート

改善取組	課題	今年度より人員減となったため、承認までの日数に遅延が生じない様に、事務の効率化を図る必要があると考えます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 申請の受付・承認日を管理し、審査の所要日数に遅延が生じない様にします。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い		
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	西三河合同の指定工事事業者研修会を行い、他の自治体と事務内容を比較し、事務の効率化を図ります。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	629	所属	上下水道部水道工務課工務係			起案者	若林康成
事業名	区画整理区域内配水管布設事業				決裁者	香村正志	
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-1111
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-1-1-3		予算科目	会計	水道事業会計	
	第8次		10-1-(1)			款		
			10-4-(1)			項		
						目		
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		509	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当				
総合計画以外の計画								
根拠法令	有	水道法						
議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託		委託先	民間企業				
実施期間	開始	平成 63 年度			終期	平成 38 年度 <input type="checkbox"/> なし		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				~になる			
	区画整理区域内の配水管が				区画整理事業に併せて整備される。			
事務事業の内容 (手段)	区画整理事業との同調施工により、生活に欠かせない水道施設を整備し、安全安心・快適な住環境を提供します。なお、配水管には、耐震管(本管、取出し管)を採用し、安全な住環境の街づくりに心掛けます。							
事務の内容	布設工事の計画・設計・監督、区画整理事業者との工程調整、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整							

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	歳出	① 事業費 (千円)	57,280	53,611	46,496	53,509
		需用費				
		役務費				
		委託料				
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金				
		その他	57,280	53,611	46,496	53,509
	② 人件費	1,890	2,898	7,812	3,213	
	正規職員 (人)	0.3	0.46	1.24	0.51	
	臨時職員人件費 (千円)					
③ 年間経費(①+②) (千円)	59,170	56,509	54,308	56,722		
歳入	④ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	59,170	56,509	54,308	56,722	
	国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0	
	受益者負担金 (千円)	1,890	2,898	7,812	3,213	
	その他 (千円)	57,280	53,611	46,496	53,509	
⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	桜井土地区画整理事業 PEPΦ75 L=698m PEPΦ100 L=2m PEPΦ150 L=474m 南明治第1・第2土地区画整理事業 PEPΦ75 L=334m	桜井土地区画整理事業 PEPΦ75 L=261m PEPΦ150 L=769m 南明治第1・第2土地区画整理事業 PEPφ75 L=723m PEPφ100 L=1m PEPφ150 L=22m PEPφ200 L=30m	桜井土地区画整理事業 PEPΦ75 L=482m PEPΦ150 L=302m 南明治第1・第2土地区画整理事業 PEPΦ75 L=1315m PEPΦ100 L=18m PEPΦ150 L=302m	桜井土地区画整理事業 PEPΦ75 L=928m PEPΦ150 L=405m 南明治第1土地区画整理事業 PEPΦ75 L=668m PEPΦ100 L=157m PEPΦ200 L=110m			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	区画整理区域内配水管整備率(桜井地区)		%	目標	66.00	69.80	72.00
実績				66.10	69.60	72.10	
区画整理区域内配水管整備率(南明治第1地区・南明治第2地区)		%	目標	22.10	32.80	39.00	46.25
			実績	20.40	26.30	38.02	

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か ■ いいえ	→	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い ■ E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である □ 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか □ いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	(<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度)		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 各区画整理事業の道路築造工事と同調施工することにより、効率の良い事業推進が図れています。	
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 区画整理事業の道路築造時に工事を施工するので、主体的に成果が向上しないからです。	
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 土地区画整理内の全ての管を耐震管にて施工するため、災害に強い街づくりに貢献できています。	
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 公共工事発注であるため、委託等に馴染まないと考えます。	
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 同調施工することにより、経費の削減は行われているので、これ以上の削減は困難であると考えます。	
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 区画整理事業との同調施工で効率的に実施しており、これ以上の効率化は無いと考えます。	
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割	
		削減額見込(概算)	0 千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 新たに街づくりを行い、道路を新設する区画整理事業では、水道管の布設替えは不可欠と考えます。また、他の自治体でも、水道管の布設には、耐震管を採用しており、取組みを継続実施するべきと考えます。	
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 □ ある □ 適正 □ 過大 □ 過小 ■ ない ■ 問題ない □ 検討必要 開発者である区画整理事業者の負担により、水道管を布設することが適切であると考えます。	
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持) <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 年度	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 特に無いと考えています。	
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 該当ありません。	
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性
	必要性が低い	必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
評価の総括	区画整理事業による街づくりには、良質な水の安定供給が可能となる配水管布設事業が必要と考えます。		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	630	所属	上下水道部水道工務課工務係			起案者	若林康成
事業名	地震防災施設緊急整備事業					決裁者	香村正志
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-76-1111
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-1-2-1		予算科目	会計	水道事業会計	
	第8次	11-3-(1)			款		
					項		
					目		
市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ		509
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当			
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	水道法、大規模地震対策特別措置法					
議会答弁	有	H27.9 水道施設の耐震化について					
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託		委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成 11 年度			終期	平成 42 年度 <input type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる			
	水道利用者が			災害時に安定した水の供給が受けられる。			
事務事業の内容 (手段)	平成14年4月に安城市が「地震防災対策強化地域」に指定されたことを受け、地震対策に重点を置いた、より災害に強く、信頼性の高い水道施設の整備に努め、その整備内容は、水道施設を5つの体系(1 基幹施設の耐震化、2 管路の耐震化、3 バックアップ対策、4 復旧対策、5 その他(施設の耐震化による設備の維持補修))に分類し、費用対効果の高い事業から実施しています。						
事務の内容	布設工事の計画・設計・監督、補助金関係事務、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	543,151	264,413	151,000	511,797
		需用費				
		役務費				
		委託料				
		使用料及び賃借料				
		負担金、補助及び交付金				
		その他	543,151	264,413	151,000	511,797
	②	人件費	1,890	2,898	10,395	14,994
		正規職員 (人)	0.3	0.46	1.65	2.38
		臨時職員人件費 (千円)				
③	年間経費(①+②) (千円)	545,041	267,311	161,395	526,791	
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	545,041	267,311	161,395	526,791	
	国庫・県支出金 (千円)	0	29,000	14,820	50,000	
	受益者負担金 (千円)	531,228	194,242	100,190	393,225	
	その他 (千円)	13,813	44,069	46,385	83,566	
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画				
	○基幹施設の耐震化 北部浄水場 ・県水受水池解体工事 ・応急給水拠点整備実施設計 ・旧1号配水池解体実施設計 ○管路の耐震化 ・重要管路実施設計 (北部浄水場～中部配水場) ・重要管路整備工事	○基幹施設の耐震化 北部浄水場 ・旧1号配水池解体工事 ・着水井及び薬品混和池設計業務委託 ○管路の耐震化 ・重要管路整備工事	○管路の耐震化 ・重要管路整備工事	○基幹施設の耐震化 北部浄水場 ・場内配水管耐震化実施設計 ○管路の耐震化 ・重要管路(西部線)基本設計 (北部配水場～名鉄本線横断) ・重要管路(東部線)実施設計 (中部配水場～桜井) ・重要管路整備工事				
成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	浄・配水場施設における耐震化された施設的能力	%	目標		66.00	69.80	64.10	64.10
			実績		66.10	69.60	64.10	
	重要幹線管路の布設替率	%	目標		14.90	17.90	21.80	29.10
実績				14.90	18.30	21.80		

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か ↓ <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価 □ はい ↓ □ 該当しない ↓ □ はい
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である ↓ <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか ↓ <input type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	(<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度)		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ
 Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 中部配水場に防災倉庫をつくる等復旧対策は、完了しています。基幹施設の耐震化については、昨年度南部整備方針が決まったのを受け、計画どおり北部浄水場および南部浄水場の整備を進めています。なお、基幹管路の耐震化は、年度予定通りの整備が実施できています。								
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 昨年度南部浄水場整備方針を見直したことにより、これ以上の成果向上の余地はないと考えます。								
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 安城市水道事業の要となる基幹施設や基幹管路の耐震化を実施しており、災害に強い街づくりに貢献できています。								
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 公共工事発注のため、委託等に馴染まないと考えます。								
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 昨年度南部浄水場整備方針を見直したことにより、これ以上の事業削減の余地はないと考えます。								
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 工事発注のため、これ以上の効率化は不可能と考えます。								
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容)		既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業										
再編後の事務事業										
		削減額見込(概算)	0 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 水道施設の強靱化は、国を挙げての目標であると共に、総合計画の中でも安全安心のまちづくりのために上下水道の耐震化の方針を示しており、継続実施するべきと考えます。								
	②受益者負担	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">■ ある</td> <td style="width:25%;">■ 適正</td> <td style="width:25%;">□ 過大</td> <td style="width:25%;">□ 過小</td> </tr> <tr> <td>□ ない</td> <td>□ 問題ない</td> <td>□ 検討必要</td> <td></td> </tr> </table> 水道事業者としても、水道施設の耐震化への負担は、致し方ないと考えます。		■ ある	■ 適正	□ 過大	□ 過小	□ ない	□ 問題ない	□ 検討必要
■ ある	■ 適正	□ 過大	□ 過小							
□ ない	□ 問題ない	□ 検討必要								
「改善の必要性」の評価		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持) </td> <td style="width:50%; text-align: center;"> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 </td> <td style="width:50%; text-align: center;"> 年度 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 </td> <td style="width:50%; text-align: center;"> 年度 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標	年度			
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 </td> <td style="width:50%; text-align: center;"> 年度 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標	年度							
<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標	年度									

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 特に無いと考えます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 該当ありません。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い	目標 平成 0 年度	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
評価の総括	水道施設の耐震化を行い、災害に強い街を作るために必要と考えます。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	631	所属	上下水道部水道工務課工務係			起案者	若林康成	
事業名	水量不足地域配水管布設事業					決裁者	香村正志	
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先	
							内線	0566-76-1111 2725
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input type="checkbox"/>	育成・支援・相談
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>	補助・助成・手当・サービス給付
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>	検査・審査・監査
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>	その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-1-1-3		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次		4-2-(9)			款	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ	項	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当		目	509
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	水道法					
議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託	委託先	民間企業				
実施期間	開始	平成 4 年度	終期	<input checked="" type="checkbox"/> なし			
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる			
	水圧・水量の不足する地域が			解消され、水の安定供給が可能になる。			
事務事業の内容 (手段)	水量不足地域の解消を図るため、配水管の口径の増径やループ化により水の安定供給に努めます。						
事務の内容	布設工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
			実績	実績	実績	予算	
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	1,911	0	9,789	20,000	
		需用費					
		役務費					
		委託料					
		使用料及び賃借料					
		負担金、補助及び交付金					
			1,911	0	9,789	20,000	
	② 歳入	人件費	正規職員 (人)	0.01	0	0.11	0.11
			臨時職員人件費 (千円)				
		③ 年間経費(①+②) (千円)	1,974	0	10,482	20,693	
④ 歳入		特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	1,911	0	9,789	20,693	
	国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0		
	受益者負担金 (千円)	1,911	0	9,789	20,693		
	その他 (千円)	0	0	0	0		
⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	水圧不足地域布設替工事(高棚町)			水量不足地域布設替工事(和泉町)	水量不足地域布設替工事(市域全域)		

成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	水圧・水量に関する要望箇所の解消		箇所	目標	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績	1.00	0.00	1.00	
				目標				
				実績				

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	<input type="checkbox"/> 義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ	<input type="checkbox"/> 廃止 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	(<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度)	
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 水量不足地域の解消に役立っており、目標も達成しています。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 ■ ない □ ある 開発などによる水量不足地域の解消は、開発者が担っており、水量不足地域が広域的になることは考えられないことから、今以上の成果の向上の余地はないと考えます。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 清浄な水を安定供給することにより、良好な生活環境の確保に貢献しています。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 公共工事発注のため、委託等に馴染まないと考えます。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 水量不足地域が解消には、配水管増径等の工事発注が不可欠であるため削減は、不可能と考えます。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 工事発注のため、これ以上の効率化は不可能と考えます。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割		
			削減額見込(概算)	0 千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 水道水の安定供給は、水道事業者には化せられた一番重要な役割であるため、水量不足解消の事業は、必要不可欠と考えます。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある □ 適正 □ 過大 □ 過小 □ ない □ 問題ない □ 検討必要 水道事業者が、実施する1番の課題であるため、水道事業で負担すべきであると考えます。		
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 目標 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 特に無いと考えます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 該当ありません。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い		必要性が高い	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	水量不足地域の解消は、水道法第1条に明記している「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善」と言う水道法の目的に寄与しており、水道事業者の根本をなす事業ですので必要と考えます。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	633	所属	上下水道部水道工務課維持係			起案者	伊藤 洋一
事業名	他事業に関連する配水管布設替事業					決裁者	香村 正志
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-71-2250
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制、指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-1-1-3		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次					款	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ	項	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		目	509
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	水道法					
議会答弁	有	H27. 9定例会: 下水道事業や他の事業にあわせ配水管の耐震化を図る					
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託		委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成 元 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				~になる		
	地域住民が				他の事業にあわせて水道配水管の布設替を行うことにより、道路を何度も掘返すことが無くなり、工事の通行規制による不便が軽減されます		
事務事業の内容 (手段)	道路整備工事および下水道工事等の他事業により支障となる既設配水管の布設替えを行います。他事業の工事と同調施工して無駄な掘り返しを無くすことでコストの縮減を図り、また、道路工事における通行規制期間を減らすことで地域住民の不便を極力少なくします。						
事務の内容	布設替工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
			実績	実績	実績	予算	
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	225,196	226,884	199,405	266,273	
		需用費					
		役務費					
		委託料					
		使用料及び賃借料					
		負担金、補助及び交付金					
			その他	225,196	226,884	199,405	266,273
	②	人件費	17,514	19,530	17,010	10,710	
		正規職員 (人)	2.78	3.1	2.7	1.7	
		臨時職員人件費 (千円)					
③	年間経費(①+②) (千円)	242,710	246,414	216,415	276,983		
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	242,710	246,414	216,415	276,983		
	国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0		
	受益者負担金 (千円)	153,588	205,854	165,818	203,481		
	その他 (千円)	89,122	40,560	50,597	73,502		
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	他事業関連配水管布設替工事 整備件数(18件)	他事業関連配水管布設替工事 整備件数(11件)	他事業関連配水管布設替工事 整備件数(14件)	他事業関連配水管布設替工事 予定件数(12件)			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	整備率＝工事整備件数÷工事発注件数(率100%)	%	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
実績							

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	<input type="checkbox"/> 義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 第8次総合計画に体系付けられているか <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	(<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度)	
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 他の事業者から水道配水管の移設依頼があった場合には、布設替工事を発注し予定どおり完了できました。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 愛知県、市土木課および下水道建設課等の他事業者から依頼に基づき随時行っている事業であるため、水道事業単独での成果向上は困難と考えています。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 道路整備や下水道整備事業等を円滑にすすめることができます。また、他の事業と同調して布設替を行うことにより水道事業単独で布設替を行う場合に比べ舗装費用等のコストが削減できます。布設替により水道配水管の耐震化率が向上します。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 公共工事発注であるため、委託等に馴染まないと考えています。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 他の事業者から支障となる水道配水管の移設依頼があった場合、その都度最適な布設替計画を検討し事業を実施しています。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 他の事業者から支障となる水道配水管の移設依頼があった場合、その都度最適な布設替計画を検討し事業を実施しています。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:30%;"></td> <td style="width:30%;"></td> <td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業									
再編後の事務事業									
		削減額見込(概算) 千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 水道事業者が他の事業者から配水管の支障移転依頼があった場合は、他の水道事業も行っているため適正と考えています。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 他の事業者から水道配水管の支障移転依頼があった場合、他の道路占有者からは有償、道路管理者からは無償などルールを決めており、有償の場合は移設費用を請求していますので適正と考えています。							
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持) 改善の必要性 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合) 目標 年度							

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 特に無いと考えています。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 該当ありません。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	<input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	土木事業や下水道事業から水道配水管の支障移転依頼があった場合、布設替工事は必要と考えていますので「他事業に関連する配水管布設替事業」は今後も必要と考えています。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	634	所属	上下水道部水道工務課維持係			起案者	伊藤 洋一
事業名	配水管維持管理事業					決裁者	香村 正志
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-71-2250
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
事務事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input checked="" type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-3-1-1-3		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次				款	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
総合計画以外の計画						
根拠法令	有	水道法				
議会答弁	有	H28. 3定例会: 仕切り弁、消火栓、水管橋等の漏水の有無について点検している				
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	昭和 30 年度	終期	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる		
	上水道利用者が			安定した水の供給を受けられるようになります		
事務事業の内容 (手段)	配水管の維持管理を行います。市民からの通報や巡視点検により漏水を発見した場合は、現地で現業職員による修理を行います。また、定期的な水質調査および洗管作業を行うことにより、水資源の有効利用および安心安全な水の安定供給を図ります。					
事務の内容	配水管等の漏水修理、工事による配水管切りまわし、漏水・水質調査、工事立会い、水道メーターの交換作業、宿日直業務委託、漏水跡の舗装復旧工事、緊急修繕、単価契約等の事務					

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
			実績	実績	実績	予算	
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	39,104	30,420	41,423	41,423	
		需用費					
		役務費					
		委託料					
		使用料及び賃借料					
		負担金、補助及び交付金					
			39,104	30,420	41,423	41,423	
	② 歳入	人件費	正規職員 (人)	4.9	4.9	6	6
			臨時職員人件費 (千円)				
		③ 年間経費(①+②) (千円)	69,974	61,290	79,223	79,223	
④ 歳入		特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	69,974	61,290	79,223	79,223	
	国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0		
	受益者負担金 (千円)	61,822	52,770	69,569	69,057		
		8,152	8,520	9,654	10,166		
	⑤ 一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	漏水等修理 (1, 437件) 点検・調査・立会い (1, 374件)	漏水等修理 (1, 435件) 点検・調査・立会い (1, 130件)	漏水等修理 (1, 186件) 点検・調査・立会い (1, 181件)	漏水等修理 (1, 186件) 点検・調査・立会い (1, 181件)			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	有効水量(%) = 漏水等損失した水量を除き有効に利用した配水量 ÷ 年間総配水量	%	目標	97.45	97.97	96.92	97.25
			実績	97.97	96.92	97.25	
			目標				
			実績				

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	④「事業の必要性」の評価 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)		
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 ■ 順調 □ 不十分 有効水量の目標は約97%でしたが、早期の漏水発見および迅速に対応をした結果、目標を上回る97.25%となり予定どおり達成できました。								
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 □ ない ■ ある 漏水による無駄に流出する水量を減らすには、通報があった場合迅速な対応をすることが重要です。365日24時間、いつでも迅速に対応できる体制を確立し、現業職員の技術力向上により今まで以上に漏水量を減らすことが可能と考えます。								
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 ■ 高い □ 低い 比較的高い97%前後の有効水量を維持していることから、健全な企業経営に寄与していると考えます。								
(2)効率性	①民間活力等の活用	■ 不可能 □ 可能 現業職員が行う配水管維持管理業務は多岐にわたっており、現時点において全面的に外部委託する考えはありません。大規模な漏水修理および施設の点検等の一部の業務は今までどおり民間業者へ業務の委託を行っていきたいと考えています。								
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 漏水修理や依頼による配水管の切り直しを行う場合、その都度最適な方法を検討し修繕作業等を行っています。								
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 ■ 不可能 □ 可能 漏水修理や依頼による配水管の切り直しを行う場合、その都度最適な方法を検討し修繕作業等を行っています。								
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 ■ ない □ 統合 □ 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:30%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容)		既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業										
再編後の事務事業										
		削減額見込(概算)	千円							
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 ■ 適正 □ 過大 □ 過小 他の水道事業者には現業部門が無い場合もありますが、民間業者に委託した場合、コストの増加および対応の遅れ等が予測され、現在のサービス水準を維持するためには本事業を継続実施するべきと考えます。								
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 ■ ある □ ない ■ 適正 □ 問題ない □ 過大 □ 検討必要 □ 過小 現業が行う配水管移設、工事中の折損、および消火栓の点検等の費用は、原則、作業等に要した費用を請求していますので適正と考えています。								
「改善の必要性」の評価		■ 有 (■ 見直し □ 拡充 □ 縮小・統合 目標 29 年度) □ 無(現状維持)								

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 漏水件数はここ最近減少しておらず、定期的な点検を継続し迅速な漏水修理を実施していく必要がありますが、今年度末でベテラン現業職員が定年退職となるため、漏水対応の遅れが懸念されます。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 早期に漏水を発見するため、定期的な点検を継続して行います。また、迅速な漏水対応を行うため、現業職員には技術力向上のための研修を行い、また、水道現業体制強化を図る方策を関係部署と協議します。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い	必要性が高い	見直し 目標 平成 29 年度	
	<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 現状維持	
評価の総括	水道は日常生活において必要不可欠なものであり、市民ニーズの多様化により一時的な断水であっても水道利用者の理解を得ることが非常に難しくつづつあります。特に、水を必要とする店舗や工場については、漏水事故が原因で多額の損害を与える危険もあります。そうした中、水道施設の適切な維持管理および迅速な対応を行うことで、リスク軽減や水資源の有効利用を図ることができますので、水道現業の体制強化を図るため「配水管維持管理事業」の見直しを考えています。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	635	所属	上下水道部水道工務課維持係			起案者	伊藤 洋一
事業名	老朽管布設替事業					決裁者	香村 正志
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-71-2250
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次		1-3-1-1-3		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次					款	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ	項	
実施計画	<input type="checkbox"/>	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		目	509
総合計画以外の計画							
根拠法令	有	水道法					
議会答弁	有	H28. 3定例会: 老朽化による漏水事故防止のため塩ビ管を優先的に耐震管に布設替する					
陳情・市民要望	無						
実施方法	全部委託		委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成 19 年度			終期	平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が				~になる		
	水道利用者が				老朽管の布設替を行うことにより、漏水による断水被害が軽減されます		
事務事業の内容 (手段)	老朽化(布設から40年経過)した塩化ビニール製配水管(VP管)Φ75~150mmを耐震性の高い高密度ポリエチレン製配水管(PEP管)に布設替します。震災時の断水被害を軽減するとともに、上水道配水管の老朽化による漏水事故を減らし、水資源の有効利用および水道水の安定供給を図ります。						
事務の内容	布設替工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整						

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
			実績	実績	実績	予算	
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	135,555	98,714	88,207	57,348	
		需用費					
		役務費					
		委託料					
		使用料及び賃借料					
		負担金、補助及び交付金					
			その他	135,555	98,714	88,207	57,348
	②	人件費	11,466	9,450	6,300	2,520	
		正規職員 (人)	1.82	1.5	1	0.4	
		臨時職員人件費 (千円)					
③	年間経費(①+②) (千円)	147,021	108,164	94,507	59,868		
④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	147,021	108,164	94,507	59,868		
	国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0		
	受益者負担金 (千円)	147,021	108,164	94,507	59,868		
	その他 (千円)	0	0	0	0		
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画			
	老朽管布設替工事 (1,966m)	老朽管布設替工事 (1,515m)	老朽管布設替工事 (1,321m)	老朽管布設替工事 (925m)			

成果	成果指標	単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	布設替進捗率(%) = 布設替完了延長(m) ÷ 布設替計画延長(m)	%	目標	16.67	17.33	17.91	18.31
			実績	16.67	17.33	17.91	
			目標				
実績							

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	<input type="checkbox"/> 義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	→	
	③第8次総合計画との関連性	<input type="checkbox"/> 第8次総合計画に体系付けられているか <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	→	
④「事業の必要性」の評価	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)	(<input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度)	
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 老朽管の布設替が予定どおり完了できました。		
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 老朽管の布設替を計画的に行っているため、今以上の成果向上は難しいと考えています。		
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 布設替により水道配水管の耐震化率が向上します。		
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 公共工事発注のため、委託等に馴染まないと考えています。		
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 老朽管の布設替は、その都度最適な布設替計画を検討し事業を実施しています。		
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 老朽管の布設替は、その都度最適な布設替計画を検討し事業を実施しています。		
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割		
既存の事務事業				
	再編後の事務事業			
	(内容)			
			削減額見込(概算)	千円
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 過去の地震災害の教訓から、安城市の水道配水管の耐震化対策が十分では無いと考えています。国が定める法定耐用年数40年を経過した老朽管は計画的に耐震管に布設替を行うことにより災害時の断水被害を軽減できることから、今後も継続的に事業を実施すべきと考えます。		
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 健全な企業経営を維持しつつ水道利用者からのご負担をいただき事業を実施していますので、適正であるとと考えています。		
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)		
		(<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合) 目標 年度		

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 特に無いと考えています。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 該当ありません。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	<input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	地震災害に脆弱である老朽化した塩化ビニール管を耐震管に変えることにより災害時の被害を軽減でき、また、水道施設の経年劣化による漏水事故を無くすことで、水資源の有効活用を図り安定した公営企業の経営を行うことができることから「老朽管布設替事業」は今後も必要と考えています。			

平成28年度事務事業総点検 評価シート

事業番号	1084	所属	上下水道部水道工務課維持係			起案者	伊藤 洋一
事業名	避難所配水管路耐震化事業					決裁者	香村 正志
事業区分	<input type="checkbox"/>	義務的	<input type="checkbox"/>	経常的	<input checked="" type="checkbox"/>	政策的	連絡先
							0566-71-2250
事務事業の分類	<input type="checkbox"/>	企画計画立案	<input type="checkbox"/>	調査・研究	<input type="checkbox"/>	規制・指導	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	内部管理	<input type="checkbox"/>	広報・普及啓発	<input type="checkbox"/>	徴収・収納	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	施設管理	<input type="checkbox"/>	窓口、受付	<input type="checkbox"/>	用地取得・処分	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	施設設計・建設	<input type="checkbox"/>	イベント・講座	<input type="checkbox"/>	現業業務	<input type="checkbox"/>
							育成・支援・相談
							補助・助成・手当・サービス給付
							検査・審査・監査
							その他

Plan【事業概要】

総合計画体系	第7次	1-4-1-3-3		予算科目	会計	水道事業会計
	第8次	11-3-(1)			款	
					項	
					目	
市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当	H28当初予算説明書該当ページ	
実施計画	<input checked="" type="checkbox"/>	該当	<input type="checkbox"/>	非該当		
総合計画以外の計画						
根拠法令	有	水道法				
議会答弁	有	H27. 9定例会:19箇所の避難所は平成29年度までに耐震化を図り、3箇所は他事業に合わせて実施する				
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成 27 年度	終期	平成 29 年度	<input type="checkbox"/> なし	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が			~になる		
	災害時の避難所利用者が			避難所につながる配水管路を耐震化することにより、円滑な避難所運営が可能になります		
事務事業の内容 (手段)	大規模地震災害に備え、避難所につながる配水管路の耐震化を行います。本事業では、地震災害に脆弱な塩化ビニール管(VP管)等を耐震性の高い高密度ポリエチレン管(PEP管)に布設替することにより、災害に強いまちづくりを推進します。また、管路の耐震化にあわせ応急給水栓が無い施設には応急給水栓を設置して避難所の利便性の向上を図ります。					
事務の内容	布設替工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整					

Do【事業費(千円)、事業実績(活動・成果)】

	No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
			実績	実績	実績	予算
年間事業費等推移	① 歳出	事業費 (千円)	0	0	65,449	103,572
		需用費	0	0	0	0
		役務費	0	0	0	0
		委託料	0	0	0	0
		使用料及び賃借料	0	0	0	0
		負担金、補助及び交付金	0	0	0	0
		その他	0	0	65,449	103,572
	②	人件費	0	0	6,300	5,040
		正規職員 (人)	0	0	1	0.8
		臨時職員人件費 (千円)			0	0
	③	年間経費(①+②) (千円)	0	0	71,749	108,612
	④ 歳入	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	0	0	71,749	108,612
		国庫・県支出金 (千円)	0	0	0	0
受益者負担金 (千円)		0	0	56,333	81,034	
その他 (千円)		0	0	15,416	27,578	
⑤	一般財源(③-④) (千円)	0	0	0	0	

平成28年度事務事業総点検 評価シート

活動実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画				
				安城北部小学校 篠目中学校 新田小学校 安城南中学校 祥南小学校 安城南部小学校 安祥中学校 桜林小学校 みのわ保育園 9箇所(全20箇所)を整備	青少年の家 安城市民交流センター 赤松保育園 ゆたか保育園 えのき保育園 三ツ川保育園 北部福祉センター 西部福祉センター 中部福祉センター 安城東部小学校 10箇所(全22箇所)を整備予定			
成果	成果指標		単位	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	避難所耐震化率＝管路耐震化済避難所数÷管路耐震化予定避難所数(率100%)		%	目標			42.1	86.4
				実績			45.0	
				目標				
実績								

Check【事業評価】

(1) 「事業の必要性」の検証・評価

(1)必要性	①行政関与の必要性	義務的な事務事業及び経常的な事務事業か <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	④「事業の必要性」の評価
	②特定項目	<input type="checkbox"/> 国・県・民間事業者等が同様のサービスを行っている <input type="checkbox"/> 社会情勢の変化等により市民ニーズの必要性が低下している事業や市民ニーズを把握しておらずニーズが不明な事業である <input type="checkbox"/> 該当する	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	
	③第8次総合計画との関連性	第8次総合計画に体系付けられているか <input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	
④「事業の必要性」の評価	必要性が低い	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難(必要性を再評価)		必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続 ※2「改善の必要性」の評価へ
⑤事業を廃止した場合の影響・廃止困難な理由など				

※④で、A～Dのいずれを選択した場合も、⑤は必須。

⑤記載後 A～Cを選択している場合 → Action【今後の方向性】へ

Dを選択している場合 → 2「改善の必要性」の検証・評価以降、すべて記載

平成28年度事務事業総点検 評価シート

(2) 「改善の必要性」の検証・評価

(1)有効性	①目標に対する進捗状況	事業実施により意図した成果が得られているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 不十分 予定どおり、9箇所の避難所配水管路の耐震化工事が完了できました。							
	②成果向上の余地	今以上に成果が向上する可能性があるか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 計画に基づき、効率よく事業を実施させています。							
	③上位施策への貢献度	事業実施により上位の施策の実現に貢献しているか検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 安城市地域防災計画で避難所が指定されており、配水管路の耐震化により震災の被害が軽減でき、避難所での活動が迅速かつ効果的にできます。また、布設替により水道配水管の耐震化率が向上します。							
(2)効率性	①民間活力等の活用	外部委託や指定管理者制度の導入、NPO等の活用による事業実施が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 公共工事発注であるため、委託等に馴染まないと考えています。							
	②事業費の削減	現在の成果水準のまま事業費の削減が可能か検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 耐震化の基準を確保してコストを削減することは困難であると考えています。							
	③事業の効率化・簡素化	実施方法の見直しや創意工夫により、事業の効率化・簡素化の可否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 可能 避難所配水管路の耐震化については、その都度最適な布設替計画を検討し事業を行います。							
	④事務事業のスリム化	事務事業の統合や分割により、効果の向上を図ることができるか。できる場合は内容を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 分割 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">既存の事務事業</td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td>再編後の事務事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (内容) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 削減額見込(概算) 千円 </div>	既存の事務事業				再編後の事務事業		
既存の事務事業									
再編後の事務事業									
(3)公平性	①事業規模・サービス水準	環境変化や他の自治体等との比較により、当市の事業規模やサービス水準の可否を検証し、判断理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 過去の地震災害の教訓から、安城市の水道配水管の耐震化対策が十分では無いと考えています。避難所配水管路の布設替により耐震化を図りつつ、液状化が予想される地域の配水管耐震化、および耐震管を線から面に拡大していく対策を講じ、市全域の配水管の耐震化対策が必要であると考えます。							
	②受益者負担	受益者負担の適否を検証し、判断の理由を記入 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 過大 <input type="checkbox"/> 過小 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 検討必要 健全な企業経営を維持しつつ水道利用者からのご負担をいただき事業を実施していますので、適正であると考えています。							
「改善の必要性」の評価		<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合) 改善の必要性 目標 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 無(現状維持)							

平成28年度事務事業総点検 評価シート

Action【今後の方向性】

改善取組	課題	活動実績・成果・事業評価の内容を踏まえて記入 特に無いと考えています。		
	改善取組	上記課題に対する平成28年度における改善取組 該当ありません。		
主管課評価 (再掲)	事業の必要性		改善の必要性	
	必要性が低い <input type="checkbox"/> A 直ちに廃止 <input type="checkbox"/> B 30年度までに廃止 <input type="checkbox"/> C 33年度までに廃止 目標 0 年度 <input type="checkbox"/> D 廃止困難	必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> E 継続	<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目標 平成 0 年度
評価の総括	「避難所配水管路耐震化事業」は平成29年度末で全ての避難所の耐震化が完了するため、計画どおり行う必要があると考えています。			